

【資料5】

区内インキュベーション施設へのヒアリング結果について

1. ヒアリング対象施設（11 か所）

	施設	運営主体
1	新宿アントレサロン	銀座セカンドライフ(株)
2	西新宿アントレサロン	
3	知恵の場オフィス	(株) エクスウィルパートナーズ
4	CASE Shinjuku	(株) まちづくり高田馬場
5	FARO 神楽坂	(株) スモールトーキョー
6	quantum cross point 市ヶ谷Ⅰ	東京理科大学インベストメント・マネジメント(株)
7	quantum cross point 市ヶ谷Ⅱ	
8	quantum cross point 神楽坂	
9	Goodjob Lab	NPO 法人ワーカーズコープ 東京中央事業本部
10	Musashino Art University Ichigaya Campus Co-Creation Space Ma	学校法人武蔵野美術大学
11	早稲田大学アントレプレナーシップセンター	学校法人早稲田大学

※インキュベーションマネージャーが適切に配置されている入居型の創業支援施設

2. ヒアリング実施結果

(1) 協議会への加入

○ヒアリングを実施したすべての施設が、前向きに検討すると回答

(2) 施設の入居状況

- 施設入居率はコワーキングスペースで3～4割
- 個室はほとんど空きがない状況
- コロナ禍の影響で入居者が減少した施設も見られたが、収束に伴い入居状況はほぼコロナ禍前と同様に戻っている

(3) 施設運営における課題や今後の展望について

- 施設の知名度を向上させたい
- コワーキングスペースの利用者を増やしたい
- 入居者同士のコミュニティ形成を促進したい
- 創業における基本的なセミナー等を実施したい

(4) 区に期待する支援等について

- 区が民間と同様のインキュベーション施設を運営することは民業圧迫になる
- 国や都、区の産業振興情報をタイムリーに提供してほしい
- 金融機関と入居者をマッチングさせる機会がほしい
- 実証実験の場を提供してほしい
- 施設運営職員の育成をしたいので、職員向けの講座などがあるとよい